



川面が丘 6月号



令和4年(2022年) 6月 1日 宝塚市立宝塚小学校

校長 藤山 昌生

いばち
いばち
いばち
いばち

この時期になると、あちらこちらの庭先に、青や水色、赤紫と文字では表すのが難しいほどの色とりどりの紫陽花(アジサイ)が咲いているのが見られます。紫陽花は、花びらのようにきれいに見えている部分は「がく」であったり、その色はその土地の土の状況によって変化していることはよく知られています。ちなみに、宝塚小学校の玄関横で咲いているのは、西洋アジサイで、ライムグリーンから白に変わっていく様子や大きな丸い花は、見ているだけで本当に癒されます。

また、紫陽花の葉とよく一緒に描かれる生き物にカタツムリがいます。実際には葉っぱの上より、自分の殻をしっかりと形成するためにコンクリートの壁にいるところを見ることのほうが多いかもしれませんが、これもまたじっと見ていると時を忘れてしまいます。そんなカタツムリですが、ちょっと目を離すと意外にも先に進んでいることにびっくりしてしまいます。

これからの梅雨の時期や暑い時期だけではありませんが、子どもたちは学習に集中できないことも多くあります。6時間の授業であったり、行事に向けて友だちと協力して進めなければならないスケジュールや責任があったりもあります。また、家に帰ると「自分でやりたい！」と決めてやり始めたとはいえ習いごとに行かなくちゃいけない、思ったより宿題が多い…など、追われていることも多くあるでしょう。やりたくないなあ、大変だなあといいながらも頑張っている子どもたちの姿にはいつも感心させられます。

一見、そばから見ていると、のろのろとして進んでいないように見えても、また、行きつ戻りつしているように見えても、少し立ち止まってその様子をじっと見てください。子どもたちは毎日の学習や生活の積み重ねで、着実に進み成長しています。

新しい年度になって約2か月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症の状況が少し落ち着きを見せ、いろいろな場面での制約が緩やかに解かれていこうとしています。今のこの時期だからこそ、急いだりあせったりせず、子どもたちのがんばりに、そして大人たちのがんばりに、まあ、「ぼちぼちいこか」という心持ちで進めていけたらと思っています。

